

世界を舞台に活躍する2人の市出身アーティスト

5 / FRI
17

世界4大コレクションなど世界に挑むネイルデザイナー
野尻出身のIZUMI さんが表敬訪問

ネイルデザイナー **IZUMI**

ネイルデザイナーで、野尻町東麓出身（人吉市在住）のIZUMI さんが、5月17日に市長を表敬訪問しました。

IZUMI さんは、ネイリストとしてネイルサロン兼スクールを営むかたわら、ネイルデザイナー集団「爪華師」の一員としても活動しています。

ネイルの制作は土台から全てが手作りで、彫金の技術や本物の宝石なども用いるといい、作品によっては完成までに3カ月かかることも。令和4年からはミラノ・コレクションやパリ・コレクションなどの世界的なファッションショーにも挑戦しており、国内外で活躍を続けています。

「地方からでも世界に行けるということを示して、ネイリストになりたいという人のお手本になれば」と話すIZUMI さん。今後ますますの活躍が期待されます。

写真④これまでに制作した作品を持って市長を訪問、⑤小林の梅雨をイメージした作品、⑥パリ・コレクション（左側）とドバイ・コレクション（右側）のために制作した作品



6 / FRI
7

現代アートとイラストレーションの二つの世界で活躍
須木出身の やまなかともろう さんが表敬訪問

現代アーティスト **やまなかともろう**

現代アーティストで、須木下田出身（福岡市在住）のやまなかともろうさんが、6月7日に市長を表敬訪問しました。やまなかさんは、日本古来の色彩や伝統工芸品の制作手法を引用しつつ、現代のマスキングワークやイラストレーションの技法も組み合わせた作品（「うるかみ」シリーズ）を制作し、東京などで個展を開催するほか、SNSを通じて海外からの注文も受注。また、イラストレーターとして挿画やキャラクターデザインの制作も行っており、直木賞作家の今村翔吾さんが書き下ろした歴史小説『じんかん』（講談社文庫）のカバー装画のイラストに採用されるなど、幅広い分野で活躍しています。

「いずれは地元でギャラリーを作り、公開制作など行いたい」と話すやまなかさん。今後の活躍が期待されます。

写真④これまでに制作した作品を持って市長を訪問、⑤伝統と現代の手法を融合し表現する「うるかみ」シリーズ⑥仏画や浮世絵的な表現で描くイラストレーション的作品

